

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	エイズ予防対策			事業番号	011-230
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	—	—
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 61 年度	点検対象年度	令和 7 年度	

4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
---	--------------------	----------------------------	--	--	--

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民 817,441 人 (R4.4.1現在)	対象数	817,441	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民に対してHIV／エイズの正しい知識を普及啓発することで、HIV感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、HIV検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○検査・相談体制 <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査 各保健センターにて月1回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施（保健センター輪番制） ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施 ○知識の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置9市（大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市・堺市）で組織されるエイズ予防週間実行委員会にて共同実施 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	エイズ予防週間実行委員会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度
11 「いきなりエイズ」の報告件数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	1	2		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		HIV感染が判明した時点でエイズを発症している状態（いわゆる「いきなりエイズ」）は、感染機会があったから長く検査を受ける機会がなかったことを指すため、当該件数の減少が早期発見・早期治療できているかの指標として設定。				
目標値の設定根拠・算出方法		全ての症例について早期発見・早期治療を目指すため、「いきなりエイズ」ゼロを目標とした。				
12 HIV抗体検査受検者数	人		実績		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		目標値	800	750	900	
		実績値	695	878		
達成率		87%	117%			
当該指標を選定した理由		陽性者の早期発見・早期治療のためには、検査・相談の機会確保が重要であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績を参考に目標値に設定。				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	エイズ予防対策	事業番号	011-230
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,806	1,992	2,811	1,847	2,844
13 財源内訳					
国支出金	723	784	1,203	891	1,222
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	1,083	1,208	1,608	956	1,622
14 人件費 (b)	16,400	16,400	16,400	16,400	24,300
15 年間経費(c)=(a)+(b)	18,206	18,392	19,211	18,247	27,144

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	R5
16 事業費内訳	検査用試薬・医療材料等消耗品費	R4	決算	1,179	589	検査手数料	R4	決算	36	18
		R5	予算	1,350	675		R5	予算	90	83
	大阪府エイズ予防週間実施負担金	R4	決算	109	47	研修会等参加負担金	R4	決算	0	0
		R5	予算	110	55		R5	予算	50	25
	医師報酬	R4	決算	191	95	研修会等参加旅費	R4	決算	0	0
		R5	予算	415	207		R5	予算	19	18
	HIV検査会場借り上げ料	R4	決算	69	35	即日HIV抗体検査及び相談業務	R4	決算	0	0
		R5	予算	74	37		R5	予算	428	374
	HIV/エイズポスター等郵送料	R4	決算	16	6	その他(使用料及び賃借料、謝礼金、負担金等)	R4	決算	247	166
		R5	予算	41	21		R5	予算	267	127

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	101	98
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,517	1,236
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	15,020	12,612
備考(算出についての説明等)		②は検査実施にかかる消耗品費や会場借り上げ料等の合計	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和3年度中に2つの保健センターが統合したことにより検査実施回数は微減した一方で、受検者数はほぼコロナ禍以前と同程度まで回復した。その上で検査1回あたりの経費が減少しているため、受検者1人あたりの費用対効果は高まっているが、これは主に検査試薬等にかかる経費の減少などの外的要因によるものである。</p>
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>Withコロナに向けた社会情勢の中で、受検者数はコロナ禍以前と同程度まで回復し、相談機会の確保や陽性者の早期発見に向けた取り組みとして一定の役割を果たすことができている。</p> <p>一方で「いきなりエイズ」の件数は目標を達成しておらず、更なる受検者数増に向けて効果的な啓発方法を検討する必要がある。</p>
----	--